

# 伊東市の予防接種

令和2年10月1日現在

【お問い合わせ】 伊東市健康推進課 予防接種担当 ☎0557-32-1584

ワクチンの種類		接種回数		公費助成で接種できる年齢	標準的な接種時期	接種間隔	備考	通知送付時期	
不活化	ヒブ	1~4回	初回 1回目 2回目 3回目 追加	生後2か月~5歳に至るまで	生後2か月~7か月に至るまでに初回1回目を接種	接種開始時期によって接種回数と接種間隔が異なります。詳細は「ヒブワクチン接種フローチャート」をご確認ください。		出生届の時窓口で手渡し	
不活化	小児用肺炎球菌	1~4回	初回 1回目 2回目 3回目 追加	生後2か月~5歳に至るまで	生後2か月~7か月に至るまでに初回1回目を接種	接種開始時期によって接種回数と接種間隔が異なります。詳細は「小児用肺炎球菌ワクチン接種フローチャート」をご確認ください。			
生(注射)	BCG	1回		1歳に至るまで	生後5か月~8か月に至るまで				
不活化	B型肝炎	3回	1回目 2回目 3回目	1歳に至るまで	生後2か月~9か月に至るまで	27日以上 1回目から139日以上	• HBs抗原陽性の母親から生まれ、健康保険によりB型肝炎ワクチンを接種した方は、公費負担の対象外となります。		
生(経口)	ロタウイルス	ロタリックス(1価) 3回 ロタテック(5価) 3回	1回目 2回目 1回目 2回目 3回目	生後6週~24週 生後6週~32週	生後2か月~14週6日までに1回目を接種	27日以上	• 生後15週以降の初回接種は、腸重積症の好発年齢と重なるためお勧めしていません。 • 原則として、途中からワクチンの変更はせず、最初に接種したワクチンを続けて接種してください。		
不活化	四種混合	ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ	4回 1期初回 1回目 2回目 3回目 1期追加	生後3か月~7歳半に至るまで	生後3か月~1歳に至るまで 初回3回目接種後1年~1年半に至るまで	20日以上(標準的には20~56日) 初回3回目接種後6か月以上			
不活化	二種混合	ジフテリア 破傷風	1回 2期	11歳以上13歳未満	11歳~12歳に至るまで		• 四種混合の2期に当たります。		11歳になる前月末
生(注射)	麻しん風しん混合	2回 1期 2期	1期 2期	1歳~2歳に至るまで 小学校就学前1年間					1歳になる前月末 6歳になる年度の前年度末
生(注射)	水痘	2回 1回目 2回目	1回目 2回目	1歳~3歳に至るまで	生後12か月~15か月に至るまで 1回目接種後6か月~12か月に至るまで	3か月以上	• すでに水痘にかかったことがある方は、公費負担の対象外となります。		1歳になる前月末
不活化	日本脳炎	4回 1期初回 1回目 2回目 1期追加 2期	1回目 2回目	生後6か月~7歳半に至るまで 9歳以上13歳未満	3歳~4歳に至るまで 初回2回目終了後おおむね1年後	6日以上(標準的には6~28日) 初回2回目接種後6か月以上	• 平成19年4月1日以前に生まれた方は、1期と2期の不足分を20歳になる前日まで公費で接種することができます。 • 平成19年4月2日~平成21年10月1日の間に生まれた方は、1期の不足分を9歳~13歳未満の間に公費で接種することができます。		3歳になる前月末 9歳になる前月末
不活化	子宮頸がん ※女性のみ	サーバリックス(2価) 3回 ガーダシル(4価) 3回		12歳になる年度の初日から16歳になる年度の末日まで(小学6年生~高校1年生相当)	平成25年6月以降、積極的な勧奨を差し控えています。接種を希望する方には接種内容の詳細を送付しますので、健康推進課までご連絡ください。				

★異なる種類のワクチンの接種間隔：注射生ワクチン接種後は他の注射生ワクチン接種まで27日以上あけてください。同時接種は医師が認める場合は可能です。

★市外での接種を希望する方には依頼書を発行します。接種予定日の1週間以上前に健康推進課へご連絡ください。

# 標準的な接種スケジュール例

令和2年8月1日現在

☐：公費助成で接種できる期間

■：日本小児科学会推奨接種期間

▼：標準的な接種時期

●：通知送付時期

ワクチンの種類		接種回数	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳
公費助成で接種できる年齢																														
ヒブ 2か月～5歳に至るまで		1～4回			▼ 1	▼ 2	▼ 3								追 ▼															
小児用肺炎球菌 2か月～5歳に至るまで		1～4回			▼ 1	▼ 2	▼ 3								追 ▼															
BCG 1歳に至るまで		1回						▼ 1																						
B型肝炎 1歳に至るまで		3回			▼ 1	▼ 2																								
ロタウイルス	ロタリックス 6週～24週	2回			▼ 1	▼ 2																								
	ロタテック 6週～32週	3回			▼ 1	▼ 2	▼ 3																							
四種混合 3か月～7歳半に至るまで		4回			▼ 1	▼ 2	▼ 3								追 ▼															
二種混合 11歳以上13歳未満		1回																												
麻しん風しん混合 (1期) 1歳～2歳に至るまで (2期) 小学校就学前1年間		2回													● ▼ I															
水痘 1歳～3歳に至るまで		2回													● ▼ 1	▼ 2														
日本脳炎 (1期) 6か月～7歳半に至るまで (2期) 9歳以上13歳未満		4回																												
子宮頸がん ※女性のみ 小学6年生～高校1年生相当		サーバリックス 3回 ガーダシル 3回																												

生後2～7か月に接種開始した場合の接種例です。接種開始時期によって回数と間隔が異なります。詳細は「ヒブワクチン接種フローチャート」、「小児用肺炎球菌ワクチン接種フローチャート」をご確認ください。

・原則として、初回接種は生後14週6日までに行います。15週以降の初回接種は、腸重積症の好発年齢と重なるためお勧めしていません。  
・原則として、途中からワクチンの変更はせず、最初に接種したワクチンを続けて接種してください。

・平成19年4月1日以前に生まれた方は、1期と2期の不足分を20歳になる前日まで公費で接種することができます。  
・平成19年4月2日～平成21年10月1日の間に生まれた方は、1期の不足分を9歳～13歳未満の間に公費で接種することができます。

平成25年6月以降、積極的な勧奨を差し控えています。接種を希望する方は健康推進課までご連絡ください。

出生届の際に必要な書類をお渡ししています。